

令和2年度 再評価委員会

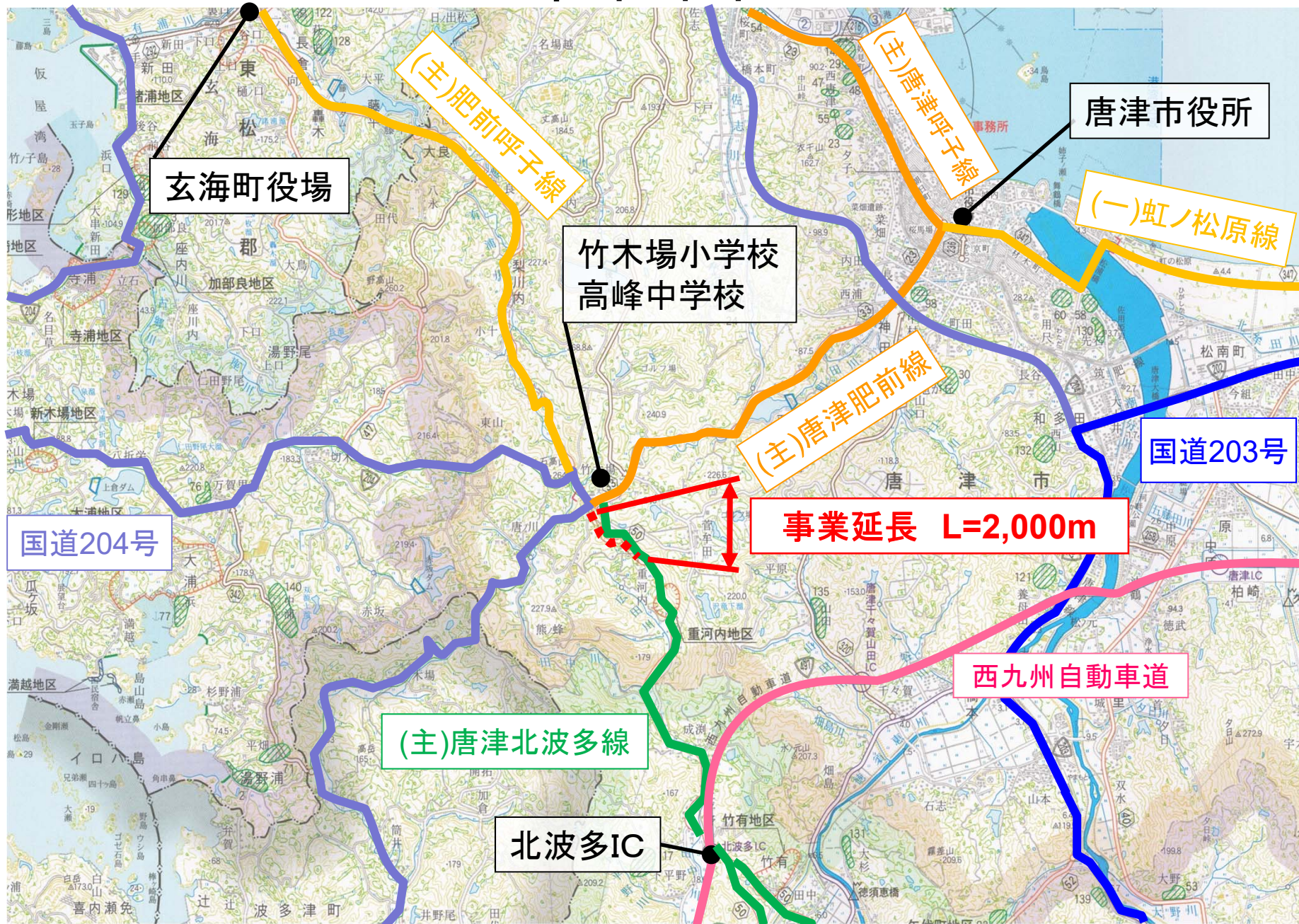
事業名：道路整備交付金事業

路線名：主要地方道 からつきたはた 唐津北波多線 からつ (唐津工区)

事業地：唐津市重河内

事業採択後10年経過のため再評価

位置図



事業目的

歩道がなく、通学者が
危険にさらされている！



線形不良により
円滑な通行に支障を来している！



現道拡幅およびバイパス整備により

交通の円滑化、安全性の向上

事業概要

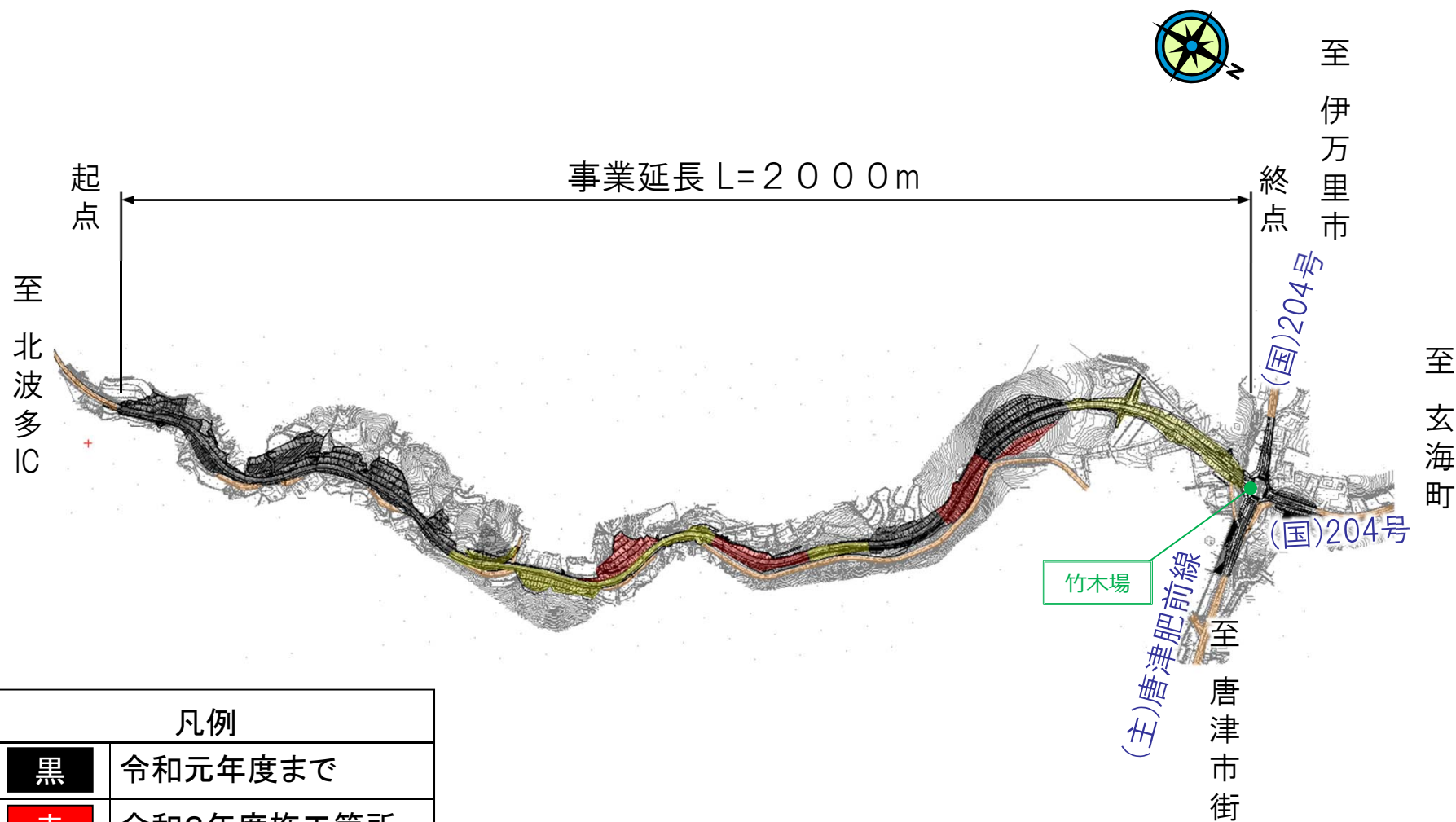
全体事業費	33.5億円
工期	平成23年度～令和6年度
全体延長	2,000m
計画幅員	6.0(10.0)m
事業内容	・改良工 L=2,000m ・舗装工 L=2,000m ・測定 N=一式 ・用地補償 N=一式
費用対効果	1.07

事業の進捗状況

	令和元年度まで	令和2年度	令和3年度以降
事業費(億円)	18.1	2.9	12.5
進捗率(%)	54.0	62.6	100.0
用地進捗率(%)	92.4	93.6	100.0

面積ベース

平面図



凡例	
黒	令和元年度まで
赤	令和2年度施工箇所
黄	次年度以降施工箇所

令和2年 現地状況

起点付近から中間側を望む(概成)



中間付近から終点側を望む



中間付近から起点側を望む

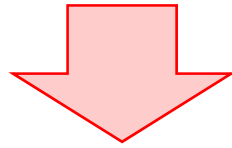
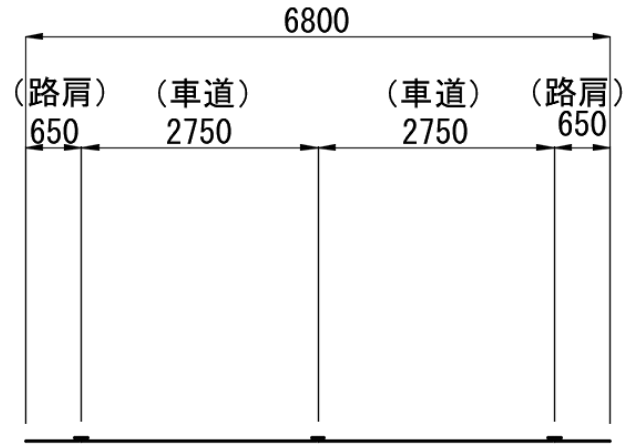


終点付近から中間側を望む

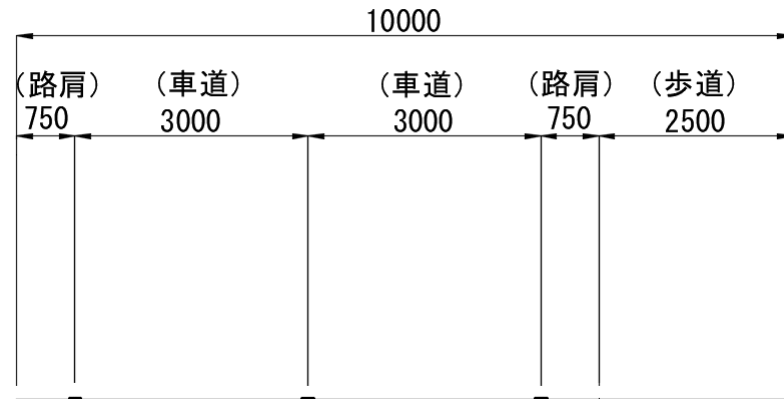


横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

○ 平成25年3月に西九州自動車道北波多ICが開通し、福岡や伊万里方面からのアクセスが向上し、今後、さらなる交通量の増加が見込まれる。

費用対効果の要因の変化

事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 36.3 / 33.9 = 1.07$$

【便益】

走行時間短縮便益	=	30.2 億円
走行経費縮小便益	=	4.8 億円
交通事故減少便益	=	1.3 億円
合計		36.3 億円

【費用】

事業費	=	32.0 億円
維持管理費	=	1.9 億円
合計		33.9 億円

基準年(令和2年度)における現在価値

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

○工事で発生する残土を、本工区で盛土等に流用する。

(代替案の検討)

○特になし

対応方針（事業課案）

- 当該箇所**の事業の必要性に変化はなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。**